

第45回全国学生躰道優勝大会



日時：平成23年10月8日(土)午後1時
会場：東京武道館(綾瀬)
主催：NPO法人 日本躰道協会
後援：文部科学省・東京都

大会要項（抜粋）

1. 競技種目と出場枠

*** 資格から外れている選手の出場は一切認めませんので、間違いのないよう確認をお願い致します。**

競技種目	出場枠	出場資格	注意事項	選手変更
男子個人実戦競技	2 名	初段以上の男子	プロテクター着用	不可
女子個人実戦競技	2 名	初段以上の女子	面ビット・プロテクター着用	不可
男子個人法形競技	2 名	原則として初段以上の男子 1	1・2 回戦：転体 3 回戦：自由 4	不可
女子個人法形競技	2 名	原則として初段以上の女子 1	1・2 回戦：転陰 3 回戦：自由 4	不可
男子団体実戦競技	1 チーム	原則として初段以上の男子 1	1 チーム 5 名 2 プロテクター着用	可
女子団体実戦競技	1 チーム	原則として初段以上の女子 1	1 チーム 5 名 2 面ビット・プロテクター着用	可
男子団体法形競技	1 チーム	原則として初段以上の男子 1	1 チーム 5 名 体の法形から自由	可
女子団体法形競技	1 チーム	原則として初段以上の女子 1	1 チーム 5 名 陰の法形から自由	可
男子団体展開競技	1 チーム	原則として初段以上の男子 1	1 チーム 6 名 背番号着用	可
女子団体展開競技	1 チーム	原則として初段以上の女子 1	1 チーム 6 名 背番号着用	可
新人団体法形競技	2 チーム 3	5 級以下の男女	1 チーム 5 名 旋体・旋陰から選択	可

1：「原則として初段以上」とは、監督の推薦があれば下記の級位も出場可とするという意味です。

但し、出場種目申込み時に、「種目別出場選手申込書」のエントリー情報欄に監督推薦者であることがわかる様チェックを入れるとともに、各大学の監督は同申込書及び本要項の内容を確認し、提出を承認することを「書類確認・提出承認書」の提出により明示してください。

なお、監督推薦は人数不足などの理由で出場させるのではなく、あくまで監督が参加できる相当の実力を有していると判断した選手に限り推薦するようお願いします。

< 監督推薦の基準 >

9 月 6 日（火）までに下記の級位を取得しているものに限る。（見込み不可）

競技種目	監督推薦出場資格
個人法形	監督推薦により 2 級以上も可
団体法形	監督推薦により 4 級以上も可
団体展開	監督推薦により 4 級以上も可
団体実戦	監督推薦により 1 級以上も可

2：団体実戦競技においては原則として1チーム5名ですが、3人以上でエントリー可とします。

3：新人団体競技においては、**最大2チーム**まで出場可能です。

このとき、旋体チームには3人以上男子選手・旋陰チームには3人以上女子選手をメンバーに入れてください。補欠選手により選手構成が変化する場合もこれを守ってください。前述の規定内であれば出場するチーム数を問わず、体・陰の指定はありません。

なお、2チーム出場の場合、同一選手が2つのチームに重複して出場することはできません。

4：個人法形競技の指定種目は1・2回戦＝「転」、3回戦以降 自由 です。

2．出場資格と制限

(1) 出場資格

日本剣道協会に登録されている大学（大学院は除く）・短期大学の剣道部の部員で、「一般会員」は平成23年9月分までの「協会費」、「正会員」は平成23年度の「正会員費」を支払済みであること。

一般道場生

協会費または正会員費及び大会出場費の納入を条件に、個人種目に限り出場を認めます。

看護学生等

剣道部のある大学に学舎を持ち、同大学の剣道部員として活動し、上述の規定に準じている者は出場を認めます。

医学部5・6年生、留学生

あくまでも大学生であることから、上述の規定に準じていれば出場を認めます。

(2) 出場制限

1人3種目までとし、これに違反した場合は該当選手の出場種目すべてについて失格となります。
「(3) 推薦選手枠」に該当する選手にも、この出場制限が適用されるので注意してください。

(3) 推薦出場枠

前年度個人種目ベスト3選手のうち、平成23年度も大学剣道部員の場合は、出場枠とは別に実行委員会の推薦で出場できます。

(4) 補欠制度

全ての団体種目に関して、大会途中怪我などによる棄権者がでた場合、申し込み時にエントリーされている補欠者各1名を出すことができる制度。補欠も1種目とするため、補欠種目も含め3種目が上限となります。

<補欠適用条件>

- ・競技中の怪我によりドクターストップが下され、申し込み時よりエントリーされた補欠者がいる場合のみ、次の試合より変更可能。
 - ・変更の際は、各コート責任者に必ず報告し、本部で承認されてからの変更となる。
 - ・一度補欠を適用した後は、元の選手が回復したとしても戻すことはできません。
- * ドクターストップが下された場合はいかなる理由でもその後の試合には参加できません。
ドクターの判断を無視した場合は、全ての競技の得点が無効となりますので注意してください。

(5) 注意事項

全ての競技種目において、出場資格と制限から逸脱して競技に出場していることが発覚した場合、故意または過失に係わらず、当該選手の所属する大学が出場する全ての競技の得点が無効となりますので、注意してください。

3 . 選手の遵守事項

- (1) 出場選手は「躰道五条訓」を練習しておいてください。
- (2) 大会当日には、学生証・「健康保険証」を必ず持参してください。持参せずに写しで治療を受ける場合、一部の病院では医療費の全額支払いを求められる場合があります。
- (3) 出場選手は日本躰道協会公認の躰道着を着用してください。躰道着の左右の上腕部に大学名や個人名を入れることや、一般的な常識範囲内のマークを取り付けることは認められています。
- (4) 出場選手は、躰道着の背面部に所属する大学名のゼッケンを必ずつけてください。ゼッケンの無い選手の出場は認めませんので注意してください。
なお、ゼッケンの大きさは、縦 7 c m × 横 2 0 c m とし、白い布地に黒字（漢字）とします。
- (5) 団体展開競技に出場する選手は躰道着の背面部に背番号ゼッケン（主役は主・旋技を主体として用いるものは 1 ・運技を主体として用いるものは 2 ・変技を主体として用いるものは 3 ・捻技を主体として用いるものは 4 ・転技を主体として用いるものは 5 ）を、必ず取り付けてください。
なお、背番号ゼッケンの大きさは、約 2 0 c m 四方とし、白い布地に黒字とします。
- (6) 実戦競技に出場する選手は、指定プロテクターを必ず躰道着の下に着用してください。
女子選手は、空気を入れた面ビットも着用してください。プロテクターは 1 階競技会場に入場する前に着用し、会場での取り付けは一切しないようにお願いします。

(7) 出場選手は、自身の段級位に合致した帯を着用してください。

以上の規定に違反すると失格となりますので、注意してください。

更に、以下の場合も出場できないので注意してください。

- ・ 躰道着の背面部に、所属大学名又は背番号のゼッケン以外の物を取り付ける。
- ・ 故意に団体展開競技の番号に、団体・大学名を入れる。
- ・ 左胸部の「躰道」のマークを他のものに替える。
- ・ 袖口や袴を、短く切ったり捲ったりする(中段構えの際に、肘が出たりふくらはぎが出ているものは違反と見なします)。

4 . 競技の判定

本院公認審判(研修生も含む)に審判を依頼し、「審判規定」に則って各競技の判定を行います。各競技の結果に従って、「総合成績 1」や「最優秀選手・優秀選手 2」「技能賞 3」を決定します。

1 「総合成績」(優勝・2 位・3 位)・・・

各種目の入賞得点を、「優勝」= 10 点、「2 位」= 6 点、「3 位」= 3 点、「4 位」= 1 点として計算し、大学単位で合計得点の高い順に表彰します。

同位の場合には、優勝 2 位 3 位 4 位の順で多い方を上位とします。

2 「最優秀選手(1 名)・優秀選手(2 名)」・・・

大会会長・審判審議長・審判長の協議によって選出・決定します。

なお試合の状況により、該当選手がいない場合もあります。

3 「技能賞(1 名 もしくは 1 チーム)」・・・

今年度のテーマである『転技』の優れた選手・もしくはチームを表彰します。

大会会長・審判審議長・審判長の協議によって選出・決定します。

なお試合の状況により、該当選手がいない場合もあります。

大会次第 (予選・午前の部)

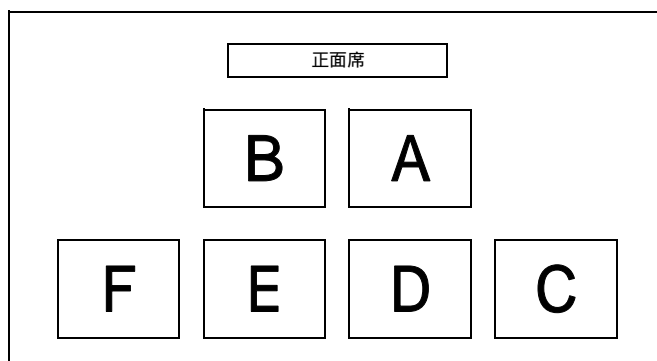
8:50 予選(午前の部) 開始

13:00 開会式

	8:50	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
A コ ー ト		9:45	10:15		12:10	
	女子法形 8試合	男子実戦 8試合	男子法形 8試合	男子団体実戦 3試合	男子 実戦	男子 法形
	8:50 ~ 9:40	9:35 ~ 10:10	10:15 ~ 10:55	11:00 ~ 11:55	35 36	35 36
	1-5,18,19,26	1,7-10,23, 24,31	1,7-10,23,24,31	2,3,9		
B コ ー ト		9:50	10:25	11:20	12:10	12:20
	男子団体法形 予選A組 7試合	女子実戦 12試合	女子団体法形 8試合	女子団体実戦 3試合	女子 実戦	女子 法形
	8:50 ~ 9:45	9:50 ~ 10:20	10:25 ~ 11:15	11:20 ~ 12:05	25 26	30 31
	1-7	1-6,13-16, 21,22	1-8	4,5,7		
C コ ー ト		9:45	10:50			
	男子団体法形 予選B組 6試合	女子実戦 12試合	女子団体実戦 4試合			
	8:50 ~ 9:40	9:45 ~ 10:15	10:50 ~ 11:50			
	1-6	7-12,17-20, 23,24	1-3,6			
D コ ー ト		9:40	10:15	11:05		
	女子法形 7試合	男子実戦 9試合	男子法形 9試合	男子団体実戦 3試合		
	8:50 ~ 9:35	9:40 ~ 10:10	10:15 ~ 11:00	11:05 ~ 12:00		
	10-13,22,23,28	2,3,11-14, 25,26,32	2,3,11-14,25,26,32	4,5,10		
E コ ー ト		9:40	10:15	11:05		
	女子法形 7試合	男子実戦 9試合	男子法形 9試合	男子団体実戦 3試合		
	8:50 ~ 9:35	9:40 ~ 10:10	10:15 ~ 11:00	11:05 ~ 12:00		
	14-17,24,25,29	4,5,15-18, 27,28,33	4,5,15-18,27,28,33	6,7,11		
F コ ー ト		9:40	10:15	11:05		
	女子法形 7試合	男子実戦 9試合	男子法形 9試合	男子団体実戦 2試合		
	8:50 ~ 9:35	9:40 ~ 10:10	10:15 ~ 11:00	11:05 ~ 11:40		
	6-9,20,21,27	6,19-22, 29,30,34	6,19-22,29,30,34	1,8		

開
会
式

コート図



大会次第（予選・午後の部／決勝）

13:00 開会式

開会宣言	大会実行委員長	春日世生
大会会長挨拶	NPO法人日本剣道協会会長	中村正弘
宗家挨拶	日本武藝剣道三代宗家	祝嶺正献
優勝旗・優勝杯返還	前年度優勝校（東京大学）	前田尚大
選手宣誓	前年度優勝校（東京大学）	前田尚大
剣道五条訓唱和	前年度準優勝校（福島県立医科大学）	足立拓也

13:30 予選(午後の部) A・B・D・Eコート

Aコート	Bコート	Dコート	Eコート
男子団体実戦 準決勝 12	男子団体実戦 準決勝 13	新人団体法形 予選A組 8試合 1-8	新人団体法形 予選B組 8試合 1-9
男子展開 1-10			

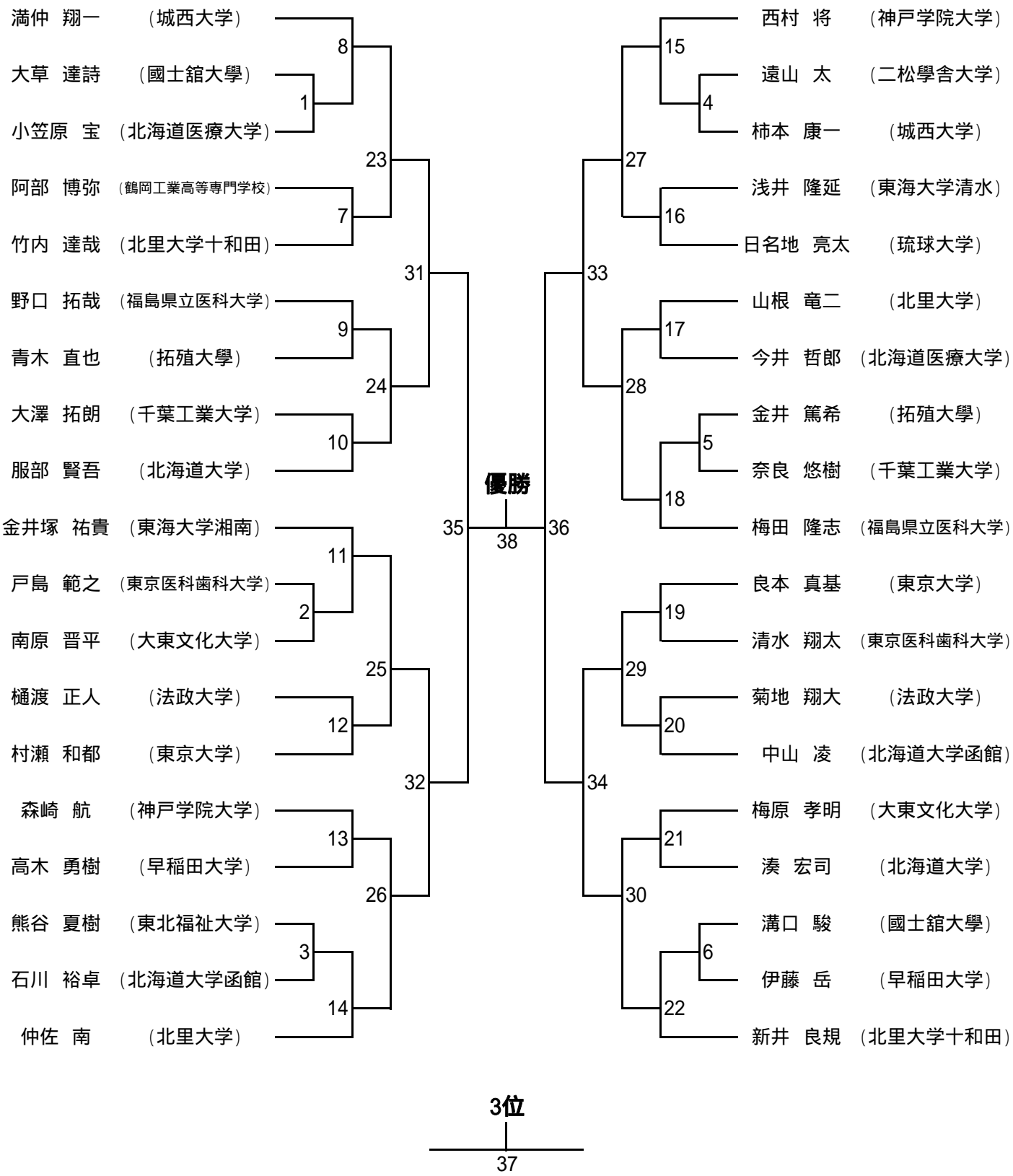
14:30 決勝戦・3位決定戦 A・Bコート

Aコート	Bコート
男子個人法形 3位決定戦・決勝戦	女子個人法形 3位決定戦・決勝戦
女子団体実戦 3位決定戦・決勝戦	新人団体法形 決勝戦
男子団体法形 決勝戦	女子団体法形 決勝戦
男子団体展開 決勝戦	女子団体展開 決勝戦
男子個人実戦 3位決定戦・決勝戦	女子個人実戦 3位決定戦・決勝戦
男子団体実戦 決勝戦	男子団体実戦 3位決定戦

16:00 閉会式

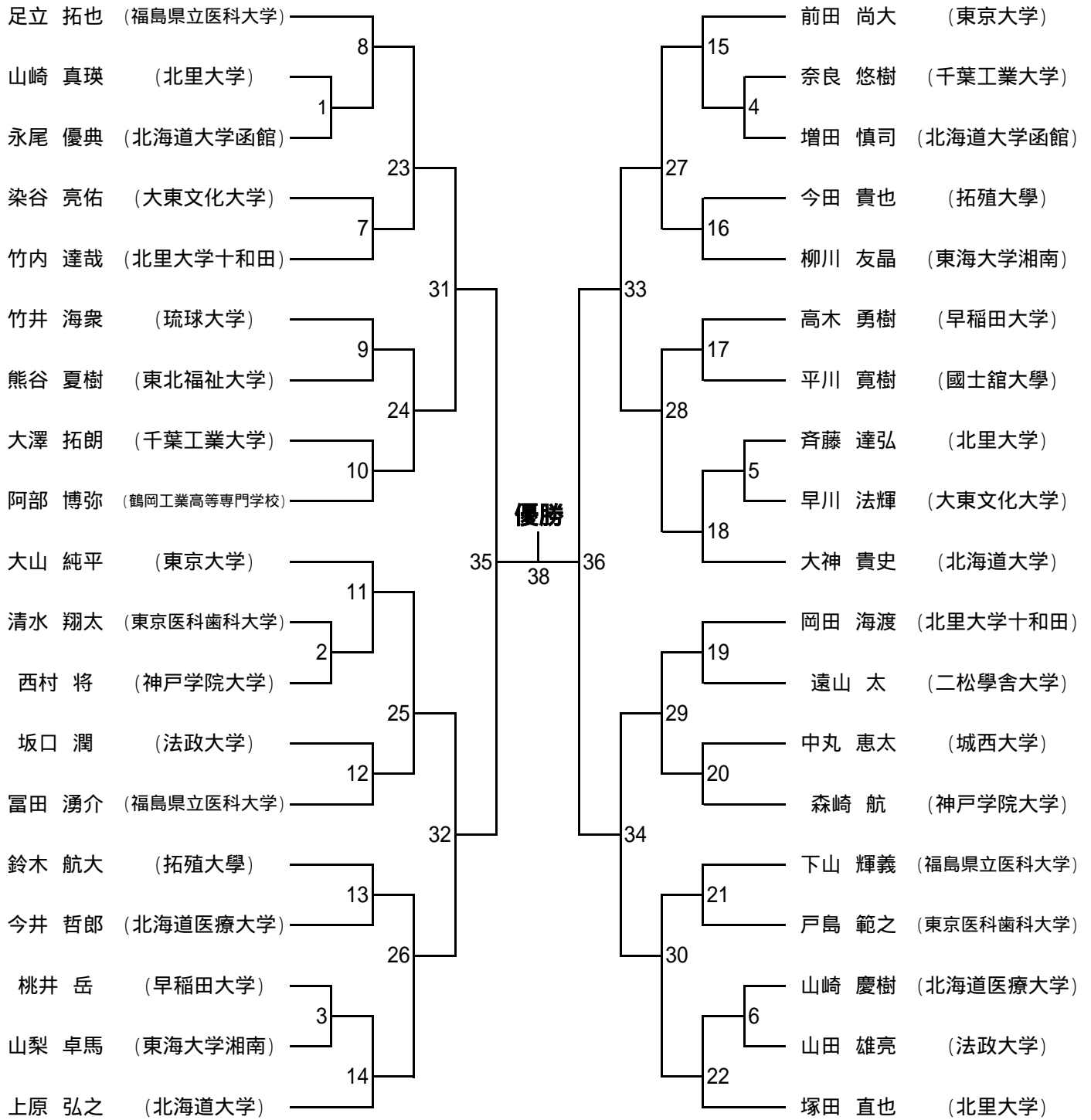
褒章授与		土井肇
講評	大会審判長	福田一史
閉会宣言	大会実行副委員長	

男子個人実戦(38名)



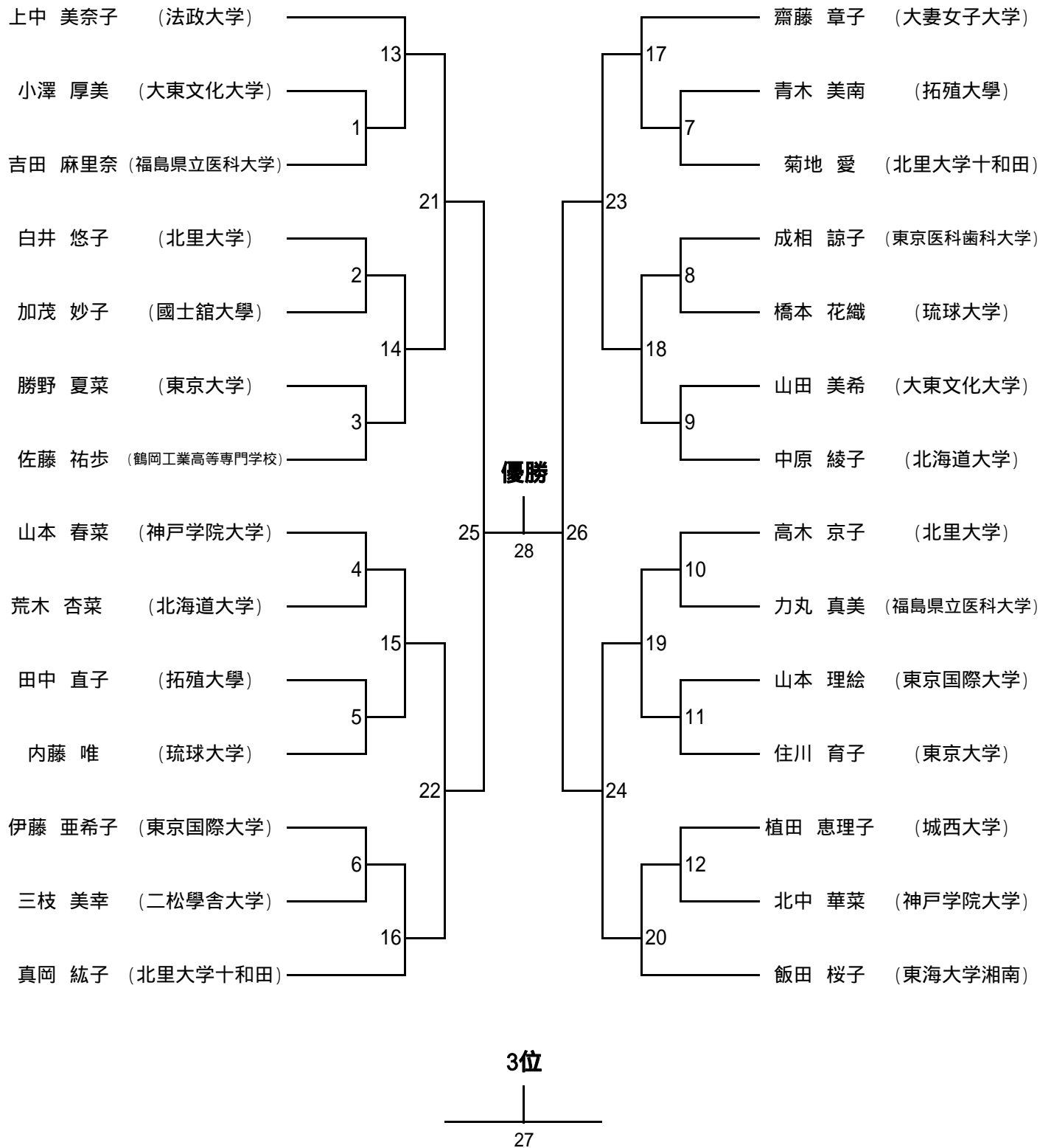
優勝	準優勝	3位	4位

男子個人法形(38名)



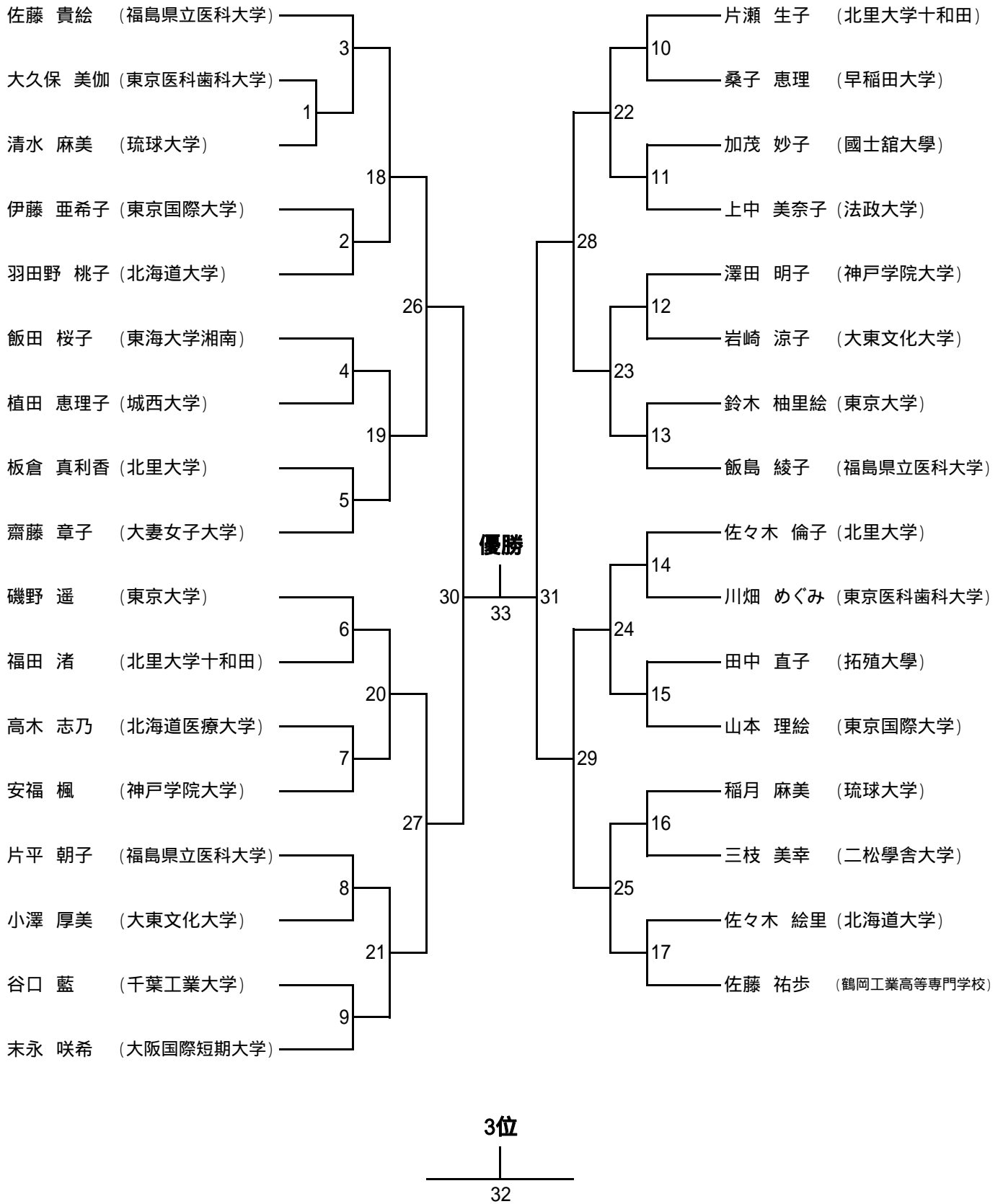
優勝	準優勝	3位	4位

女子個人実戦(28名)



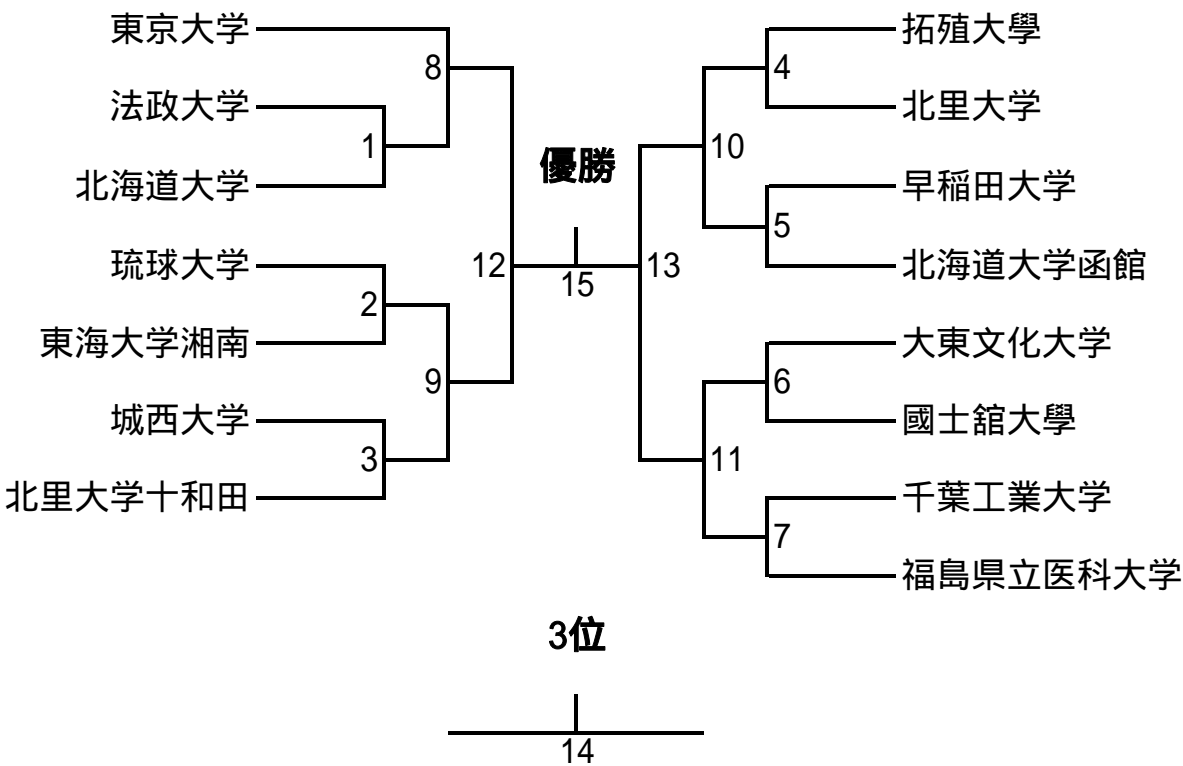
優勝	準優勝	3位	4位

女子個人法形(33名)



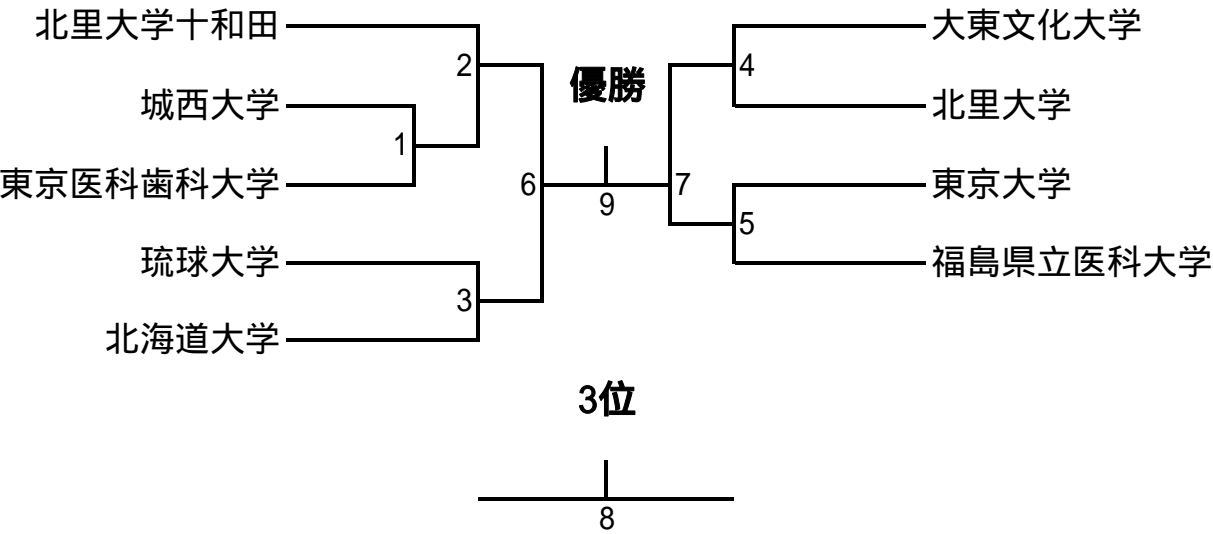
優勝	準優勝	3位	4位

男子団体実戦(15チーム)



優勝	準優勝	3位	4位

女子団体実戦(9チーム)



優勝	準優勝	3位	4位

男子団体法形競技(13チーム)

予 選 A 組							
No.	大学名	主審	副審	副審	場外減点	合計得点	順位
1	東京大学						
2	國土館大學						
3	法政大学						
4	大東文化大学						
5	城西大学						
6	北海道大学						
7	拓殖大學						

予 選 B 組							
No.	大学名	主審	副審	副審	場外減点	合計得点	順位
1	琉球大学						
2	北里大学						
3	北海道大学函館						
4	北里大学十和田						
5	福島県立医科大学						
6	神戸学院大学						

決 勝 戦							
No.	大学名	主審	副審	副審	場外減点	合計得点	順位
1							
2							
3							
4							

優勝	準優勝	3位	4位

女子団体法形競技(8チーム)

予 選							
No.	大学名	主審	副審	副審	場外減点	合計得点	順位
1	北海道大学						
2	東京医科歯科大学						
3	北里大学						
4	琉球大学						
5	東京大学						
6	北里大学十和田						
7	神戸学院大学						
8	福島県立医科大学						

決 勝 戦							
No.	大学名	主審	副審	副審	場外減点	合計得点	順位
1							
2							
3							
4							

優勝	準優勝	3位	4位

男子団体展開競技(10チーム)

予 選													
No	大学名	主審	副審1	副審2	副審3	副審4	副審5	合計	タイム	時間減点	場外減点	得点	順位
1	國土舘大學												
2	琉球大学												
3	大東文化大学												
4	北海道大学												
5	北里大学十和田												
6	北里大学												
7	福島県立医科大学												
8	東海大学湘南												
9	東京大学												
10	城西大学												

決 勝													
No	大学名	主審	副審1	副審2	副審3	副審4	副審5	合計	タイム	時間減点	場外減点	得点	順位
1													
2													
3													
4													

優勝	準優勝	3位	4位

女子団体展開競技(4チーム)

決 勝													
No	大学名	主審	副審1	副審2	副審3	副審4	副審5	合計	タイム	時間減点	場外減点	得点	順位
1	北里大学十和田												
2	福島県立医科大学												
3	神戸学院大学												
4	北里大学												

優勝	準優勝	3位	4位

新人団体法形競技(17チーム)

予 選 A 組								
No.	大学名	選択法形	主審	副審	副審	場外減点	合計得点	順位
—	東北福祉大学	旋陰	4名での公開演武として実施し、採点は行わない。					
1	北海道大学A	旋体1						
2	琉球大学	旋体						
3	城西大学A	旋体						
4	東京大学B	旋陰						
5	北里大学A	旋体						
6	神戸学院大学	旋体						
7	福島県立医科大学B	旋陰2						
8	東海大学湘南B	旋陰						

予 選 B 組								
No.	大学名	選択法形	主審	副審	副審	場外減点	合計得点	順位
1	北里大学B	旋陰						
2	東京大学A	旋体						
3	千葉工業大学	旋体						
4	北海道大学B	旋体2						
5	東海大学湘南A	旋体						
6	大東文化大学	旋体						
7	東京医科歯科大学	旋体						
8	城西大学B	旋陰						
9	福島県立医科大学A	旋陰1						

決 勝 戦								
No.	大学名	選択法形	主審	副審	副審	場外減点	合計得点	順位
1								
2								
3								
4								
5								
6								

選択法形の数字は、エントリーの際に出場申込書に入力した数字を表す。

優勝	準優勝	3位	4位

第45回全国学生剣道優勝大会 得点表＜総合＞

大学名	個人戦				団体戦							合計点	順位
	男子		女子		男子			女子			新人 団法		
	実戦	法形	実戦	法形	実戦	法形	展開	実戦	法形	展開			
北海道大学													
北海道大学函館													
北海道医療大学													
北里大学十和田													
東北福祉大学													
福島県立医科大学													
城西大学													
東京国際大学													
城西大学													
東京国際大学													
千葉工業大学													
東京医科歯科大学													
大東文化大学													
法政大学													
二松學舎大学													
早稲田大学													
北里大学													
國士舘大學													
東京大学													
拓殖大學													
東海大学湘南													
東海大学清水													
神戸学院大学													
琉球大学													
鶴岡工業高等専門学校													
大阪国際短期大学													
大妻女子大学													

* 1位…10点 2位…6点 3位…3点 4位…1点

同位の場合には、優勝 2位 3位 4位の順で多い方を上位とします。